

「8月2日はハーモニカの日」趣意書

全日本ハーモニカ連盟会長 真野泰治
「ハーモニカの日」プロジェクト実行委員会 委員長 平松 悟
事務局長 岡本吉生
事務局副局長 梁木 進

■ハーモニカの出現からまもなく200年

ドイツの時計職人、クリスチャン・メスナーがハーモニカの製造を始めてまもなく200年。150年目の節目となる昭和52年には、全日本ハーモニカ連盟が「ハーモニカ150年祭」キャンペーンを展開、昭和56年には「ハーモニカ渡来85周年」記念イベント、平成7年には「ハーモニカ渡来100周年」を記念して横浜で「国際ハーモニカフェスティバル」を開催。平成14年には日本初開催となる「アジア太平洋ハーモニカ大会in厚木」も開催され、一大ハーモニカムーブメントが起きます。それは先人たちの知恵と努力の結晶でした。

■ハーモニカ音楽の沈滞が兆すいまだから

そこから20年、ハーモニカ愛好者の高齢化やコロナ禍によってハーモニカはいま沈滞傾向の中にあり、人々はまた、いまの世界情勢下、残念ながら分断と人間関係の隔たりを生む社会の中に生きています。

私たちが真に望むのは人と人のつながりの回復、一人ひとりの心の平安です。個人の幸福は人とのつながりの中に実現するはずですし、それを橋渡しするのは音楽です。いまこの時代に、ハーモニカとハーモニカ音楽の役割と意義はますます大きいと考えます。

■「心を元気に！ 8月2日はハーモニカの日」を合言葉に

ハーモニカにはさまざまな種類があって、それぞれのハーモニカには固有の個性と魅力があります。小さな楽器ながら心震わすハーモニカの音色。私たちはハーモニカの垣根を超えて、「8月2日はハーモニカの日」を合言葉に、ハーモニカを元気に、心を元気にする取り組みを、それぞれが、それぞれの場所から立ちあげ、盛りあげて行きたいと考えます。

■それぞれの創意あふれる取り組みを

ハーモニカを愛する者が、ハーモニカと共にあることを喜び、誇りとし、先人たちの努力に報いるためにも、それぞれのハーモニカ、ハーモニカ音楽への理解と共感をもって「ハーモニカの日」を広く継続的にアピールしていきたい。

「ハーモニカの日」の意義を共有し、各地域、各人、各団体の工夫を凝らした多様多彩な自発的イベント、コンサートなどがたくさん生み出されることを期待したいと思います。

ハーモニカプレイヤー、愛好家、各団体、メーカー、販売店などの皆様には、ご賛同とご協力を切にお願いしたいと思います。

お問い合わせ 事務局 岡本吉生 core@core-harmonica.com 090-7832-5137